



第3回意見交換会ニュースレター



第3回意見交換会を令和6年12月12日(木)に開催しました!

会場: 文京区大塚地域活動センター

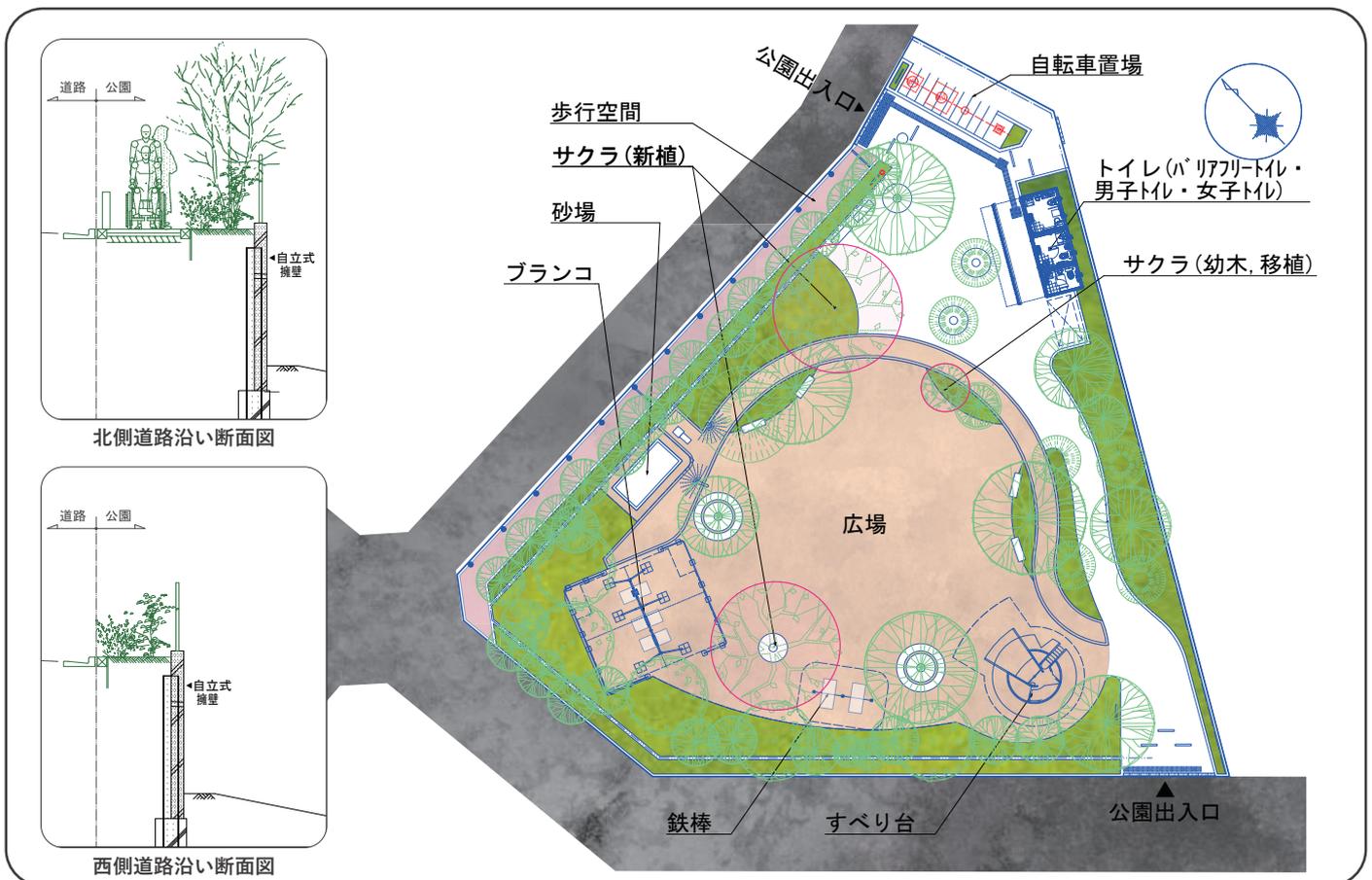
令和6年12月12日(木)に「公園の最終計画案を確認しよう!」をテーマに、第3回意見交換会を開催しました。第3回の計画案については、前回の意見交換会のご意見を基に、できるだけ広場を確保し、遊具ゾーンをまとめた案としました。当日は会場に10名、Zoomに2名の方に参加いただきました。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。

なお、皆様のご意見等を踏まえ、第4回意見交換会を開催することといたしました。

開催日程につきましては別途お知らせをいたします。

● 第3回計画案のポイント ●

- ・地域の行事や活動の場、憩いの場として広く平らな広場を真ん中に平坦な広場を公園の真ん中に配置し、周辺に遊具を設置しました。
- ・広場を最大限確保し、遊具ゾーンをまとめ、子どもたちを見守りやすい配置としました。
- ・誰もが利用しやすい公園となるよう休憩施設と防災施設を配置しました。



● 第3回意見交換会及び意見箱の主なご意見 ●

○ 擁壁と道路の関係について

- ・伐採する樹木を減らすために、一部既存擁壁を残し、高さが2mを超える部分のみ擁壁改修にできないか。
- ・今回の改修が数十年に1度のことであれば、部分修繕を行うやり方ではなく、全面的に改修を行い修繕を少なくしたほうが結果的に税金がかからないのではないか。
- ・北側の4m道路に歩行空間と植栽帯(幅2.4m)を作る計画だが、伐採する樹木を減らすために、歩行空間を無くす(減らす)案は無いのか。
- ・北側道路は車も自転車も交通量が多いので、歩行空間はあったら良い。
- ・擁壁近くにある電柱は移設できないか。

○ 樹木について

- ・既存の樹木の大部分を伐採しないと整備ができない事に納得できない。伐採を少なくする擁壁の改修方法を検討してほしい。
- ・ケヤキなどの大木は電線に掛かり危険で心配。また、落葉樹は落ち葉の掃除が大変なので、新植樹は常緑にして欲しい。
- ・既存の高木が、日当たりの悪さや暗くて見通しの悪い公園となっている原因ではないか。
- ・古い木は樹形が悪いため、何でも残すのではなく、新しい公園にそぐわないものは植え替えという判断も必要ではないか。
- ・樹木診断結果や他自治体の事例を参考にし、古木のサクラ1本を残してほしい。
- ・サクラが残せないのであれば、高さが4m程度のサクラを何本か植えてほしい。
- ・自分が小さい時のサクラが大きくなったように、今の子どもたちと共に成長するサクラにしてほしい。窪町東公園で植え替えたサクラは10年程度で大きくなった。成長にかかる時間は問題ないのではないか。
- ・サクラの根際のキノコの状況や、樹木医の診断内容を聞き、子どもが遊ぶ場所に倒木などの可能性があるのは危険だと思う。

○ 公園施設について

- ・道路近くの遊具配置は、子どもの飛び出しの危険があるのではないか。
- ・遊具はこんなに必要か。遊具がなくても子どもたちが楽しそうに走り回っている公園はある。
- ・ブランコ、滑り台、鉄棒は欲しい。
- ・ベンチはたくさんいらない。
- ・バリアフリートイレは、扉が閉まると中で何が行われているかわからないため近隣住民にとって不安である。
- ・公園の規模から考えて、バリアフリートイレの設置のみでもよいのではないか。

○ 公園のあり方について

- ・この公園は大きな規模ではないので、子どもが大きくなると、遊ばなくなるのではないか。
- ・教育の森が近くにあり、そちらで遊ぶと思うので、公園の機能分担が必要だと思う。
- ・素敵な公園になると子どもが来るようになるのでは。楽しみにしている。
- ・散歩や通り抜けする人も楽しめる公園にしてほしい。
- ・高齢者等が利用しやすい公園があってもよいのではないか？

○ ご意見箱に寄せられた意見

- ・工事期間の短縮、工事騒音や粉塵の防止策について、具体的な取組を示してほしい。
- ・公園灯の位置は、治安対策の観点から、公園内を一定の明るさに出来る位置に設置するのが良いと思う。
- ・ツツジやアジサイなどの低木や中木は移植が可能と思うので、廃棄することなく、活かしてほしい。

頂いたご意見は、一部要約しています。
今回頂いたご意見を基に計画案を修正し、
第4回意見交換会でお示しいたします。

